男性の育児休業取得に向けて～上司編～

男性の育児休業取得のメリット

●生産性の高い人材育成につながる

●部下のワーク・ライフ・バランスの実現

●業務の棚卸し見える化を行うことで「本当に必要な業務」がわかる

●会社に対する満足度向上により離職率が低下

面談のポイント

　●男性社員から子どもの出生予定の報告があった場合は、育児休業制度等に関する

　　周知※を行うとともに取得の意向を確認しましょう。

　　　　※周知事項

　　①育児休業・産後パパ育休に関する制度

　②育児休業・産後パパ育休に関す申し出先

　　③育児休業給付に関すること

　　④労働者が育児休業・産後パパ育休期間について負担すべき社会保険料の取り扱い

　●「育児休業計画書」を作成するように伝えましょう。

　●育児休業取得が、人事評価においてマイナス評価とならないことを伝えましょう。

　●「育児休業計画書」が提出された場合は、その内容を十分確認し、計画どおりに休

　　暇・休業が取得できるように、他の社員の理解と協力を得ながら職場全体でサ

ポートする体制を整えましょう。

　面談時、確認しておくとよいこと　　　　　　　　面談時に伝えておくとよいこと

〇職場復帰予定日　　　　　　　　　　　　　　　　〇復帰後の給与について

〇保育園入園日と慣らし保育期間、保育時間　　　　※会社が立て替えているものがあればそ

〇保育園名、自宅からの距離、会社～保育園　　　　　の金額と控除方法など

　の所要時間　　　　　　　　　　　　　　　　　　〇人事異動の可能性があればできる範囲で

〇夫婦の役割分担…保育園送迎、発熱時お　　　　　〇休業中の会社の体制や復帰後の業務の

迎え、その他　　　　　　　　　　　　　　　　　　内容の変化など

〇家族、地域の協力体制　　　　　　　　　　　　　〇復帰後に面談を実施する予定であること

〇復帰後に利用する制度の有無

　・短時間勤務制度　始業・終業時間の確認

　・所定外労働の制限(残業免除)

　・時間外労働の制限

〇出張の可否

〇配慮してほしいこと、不安なこと

男性の育児休業取得に向けて～本人編～

男性の育児休業取得のメリット

●仕事の生産性が上がるようになる

育児を通して、効率的な時間の使い方や物事の優先順位の付け方を自然に学ぶ

　ことができるようになり、効率的に仕事を進められるようになると言われてい

　ます。

●自身のワーク・ライフ・バランスの実現

●周りへの感謝の気持ちを持ち、社内コミュニケーションも良好

面談のポイント

　●子どもの出産予定が分かったら、遅くとも出生予定日の２か月前までに上司に伝

　　えましょう。

　●上司から渡される「育児休業計画書」を配偶者と相談しながら作成し、産後パパ育

　　休(R4.10.1～)や育児休業、年次有給休暇等の取得計画を立てましょう。

　●育児休業を取得する場合は、早めに上司に伝えましょう。

　●育児休業を取得したことによって、人事評価においてマイナス評価となることは

　　ありません。

　●上司との面談を通じて「育児休業計画書」を完成させ、上司に提出しましょう。

　●復帰後に利用する制度や配慮してほしいことを伝えましょう。

育児休業給付金に関することは速やかに担当部署に確認しましょう

生活面でのメリットは……

　　　　　パートナーが社会で

　　　　活躍する機会につながる　　　　　　　　　　子どもに必要とされていることを

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　実感し、自分に自信がつくようになる

　　　　　育休をきっかけに

　　　　家事・育児を主体的に　　　　　　　　　　　育児の喜びや悩みを共有する

取り組むようになる　　　　　　　　　　　　　ことで家族の絆が深まる